

女性チャレンジ応援拠点だより 2020 4月

〇〇〇〇〇 コラム【春風にのせる新チャレンジ!】 〇〇〇〇〇

「コロナ・ショック」で年度の節目がつきにくいまま 2020 年度がスタートしました。オリンピックが延期されるほどの世界的な事態にただただ唖然とするばかりですが、それでも桜は咲き、新緑が少しずつ街の風景をひきたてています。今の事態もいずれ次の段階へ進みますよ、と自然が励ましているようです。



停滞を余儀なくされるのは皆おなじ、やがてやってくる「コロナ後」に、素早く対応して、自分の花を咲かせられるかどうかは、今のこの期間の過ごし方にかかっているのではないのでしょうか。社会の意識や行動が「コロナ」前と同じに戻ることはありません。ひょっとするとチャレンジのテーマによっては「コロナ後」の方が実りやすい可能性もあります。

ともあれ、今の状態は必ず反転します。その時期をまずは秋と見込んでみましょう。10 月には、「倍返し」まではいなくても、例年以上に社会活動が活発になると想定して、7 月末までにはいつでもアプローチできるようにしておくのです。実際はもっと先に延びたとして、さらに準備を上乘せできるわけですから、無駄にはなりません。

さあそこで令和 2 年度は「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」と題して毎月お届けする予定です。「大きな仕事も小さな仕事も、小さな仕事の積み重ね」は言うまでもありませんが、〈小さな〉のもっと細かな、些細なことが、ひいては、結果の良し悪しを左右している、そういった視点で、例をあげながら考えていきたいと思えます。その第一回目の今回は…

～ケース1『初めのうちに後々のための記録』～

活動を始めて 6 年がすぎた方の例です。順調に活動の幅を広げて、仕事も入り、多忙な状況がうれしかったそうですが、そのうち、目の前の仕事に追われるようになり、とうとうある日、相手先に失礼になるミスをしてしまったとか。これではダメだとわれにかえり、仕事のやり方を見直そうと、1 日 3 時間程度を 5 日間の予定で、とりかかったのです。

見直し作業をして、新しくやることにしたことは 3 つでした。その内の 2 つは記録にあたるものです。1 つ目は仕事の履歴の記録です。そろそろ活動のステージを上げたいと思われていたそうで、まずはこれまでの実績を一覧にしたものを作ることにした。6 年とはいえ、これがけっこう煩雑で面倒だったそうで、「もっと最初からちゃんとやっておけばよかった」とはご本人の弁です。でもおかげで記録のパターンが出来たので、今後は積み上げていくだけの作業です。

もう 1 つは、仕事ごとの概要、経過、結果を簡単に A4・1 枚に記録すること。その構成は、上段に仕事を受けた日、相手先、経緯などの概要を記入する欄、中段は事前事後を含めて、その仕事に要した作業と時間を記録する欄、下段は結果の検証の欄。先の過去の仕事の履歴のうち、主なものは、このシートに書き出すことにしたとのことでした。

チャレンジ早々は目の前のことで精一杯になるもの。チャレンジしたなら、よりよくしたくなります。それでこそまた続けていきます。そのためには、仕事の質を徐々に高めて、よい結果を生み出して、その実績をしっかりと伝えていくことは大事。

すでに自分なりの方法を編み出している方はいいとして、まだという方は、上記をヒントにご自身なりの方法を今のうちに考えておくとよいのではないのでしょうか。

一人で考えるのはちょっと…という方は、「女性チャレンジ応援拠点」があります。しばらく休室していますが、電話とメール対応は継続しています。詳しくは下欄のご案内しております。社会は停滞していますが、みなさんはこの間に小さな実りが得られますように！

〇〇〇〇〇 休室のお知らせ 〇〇〇〇〇

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当面の間休室しています。休室中は、火曜日と土曜日の下記時間帯において、電話にてご相談をお受けしています。メールでのご相談もお受けしますが、返信にお時間を頂く場合があります。電話番号、メールアドレスは下記をご参照ください。みなさまにはたいへんご不便、ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
電話 & ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

【電話対応時間帯】
火曜日：10 時 30 分～12 時 30 分
土曜日：13 時～15 時

